



特 別
^5
6590
187



八五
6590
187

花難とれり

拾拾

二五の



きーんてつものいふいふの
こころおれこころがま

あけられ
あけられ

八月十八日
そのの

八月十五日
年の

八月

七月
八月

八月

春末夏初
秋
冬
七

月梅のり 足

丙子年六月二十日申子辰
巳八月日也

日梅のり

己酉丑 卯のり 卯未 卯未

寅午戌 卯のり 申子辰 卯未

寸金のり

寸金のり

寸金のり

寸金のり

寸金のり

寸金のり

寸金のり

寸金のり

寸金のり

寸金のり

寸金のり

寸金のり

おきあはく

法つものこがのえかめ

田中のまなもた

まのえかめ

指神下

子、丑、寅、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥

寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥

辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥

午、未、申、酉、戌、亥

申、酉、戌、亥

亥、子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥

右

ら

ま

と

あ

子年... 丑年... 寅年... 卯年... 辰年... 巳年... 午年... 未年... 申年... 酉年... 戌年... 亥年...

寅卯年人

子年... 丑年... 寅年... 卯年... 辰年... 巳年... 午年... 未年... 申年... 酉年... 戌年... 亥年...

巳午年人

子年... 丑年... 寅年... 卯年... 辰年... 巳年... 午年... 未年... 申年... 酉年... 戌年... 亥年...

子年... 丑年... 寅年... 卯年... 辰年... 巳年... 午年... 未年... 申年... 酉年... 戌年... 亥年...
子年... 丑年... 寅年... 卯年... 辰年... 巳年... 午年... 未年... 申年... 酉年... 戌年... 亥年...
子年... 丑年... 寅年... 卯年... 辰年... 巳年... 午年... 未年... 申年... 酉年... 戌年... 亥年...

亥子人

子年... 丑年... 寅年... 卯年... 辰年... 巳年... 午年... 未年... 申年... 酉年... 戌年... 亥年...
子年... 丑年... 寅年... 卯年... 辰年... 巳年... 午年... 未年... 申年... 酉年... 戌年... 亥年...
子年... 丑年... 寅年... 卯年... 辰年... 巳年... 午年... 未年... 申年... 酉年... 戌年... 亥年...

百十年紀の長原大寺に
法華經の秘の御書
亥年紀の秘本御書

乙未年一〇月一日

あまの

子有るは又是れ全取す
河内人カ之業ありなる
凡あまの

子有るは

あまの。とら。のそく。け
七のあまの。とら。のそく。け
あまの。とら。のそく。け
あまの。とら。のそく。け
あまの。とら。のそく。け

あまの。とら。のそく。け

子生んかぬるまゝに

一 行機カトリア字成候よま産婦
よのまきと一しきましきと

一 産婦の石のくぶびのとが
に突ちこ三柱まはるゝの産
くしとち産し

一 子まの肉を死てむまはあ
よい 産のう用のらちやまは
用あしをましせし

一 産かろくも産 尚飯川
並母

産のこくまんと用と

又あやうみ命あつけ

ち振よしと用して

一 子まの肉して死るに産婦の
あしとち産し

○あるあしと

一 子まのこか下とさしとく
ゆりませあしとち産婦の

○あしとち産し

一 産んまきといふ産を産に
しと用あし

一 ねつけのるつさいものふみ
産

○産後産乳と産し

一 いとすのあらぬをい
くしとち産し
めうと上よりを
とんつみちひと
あせいでい

又...
あうてのちめま...

一...
こ...
...

△...
...

△...
...

...
...

△...
ハ...
...

出月る日

春...
秋...
冬...

...
いじ日

春...
秋...
冬...

...
...

春...
秋...
冬...

春...
秋...
冬...

子の日 卯の方 廿九日 卯の方
辰の方 寅の方 廿八日 卯の方
辰の方 寅の方 廿七日 卯の方
辰の方 寅の方 廿六日 卯の方
辰の方 寅の方 廿五日 卯の方
辰の方 寅の方 廿四日 卯の方
辰の方 寅の方 廿三日 卯の方
辰の方 寅の方 廿二日 卯の方
辰の方 寅の方 廿一日 卯の方
辰の方 寅の方 廿日 卯の方
辰の方 寅の方 十九日 卯の方
辰の方 寅の方 十八日 卯の方
辰の方 寅の方 十七日 卯の方
辰の方 寅の方 十六日 卯の方
辰の方 寅の方 十五日 卯の方
辰の方 寅の方 十四日 卯の方
辰の方 寅の方 十三日 卯の方
辰の方 寅の方 十二日 卯の方
辰の方 寅の方 十一日 卯の方
辰の方 寅の方 十日 卯の方
辰の方 寅の方 九日 卯の方
辰の方 寅の方 八日 卯の方
辰の方 寅の方 七日 卯の方
辰の方 寅の方 六日 卯の方
辰の方 寅の方 五日 卯の方
辰の方 寅の方 四日 卯の方
辰の方 寅の方 三日 卯の方
辰の方 寅の方 二日 卯の方
辰の方 寅の方 一日 卯の方

右は方ハ法ルヨ家必納めて大吉
日ニキルハ危クシクハ大ニイカ

中ノ日ニ吉無クノ方

大陽日 朔日 七日 十三日 十九日 廿五日

大陰日 二日 八日 十四日 廿一日

天父日 三日 九日 十五日 廿一日 廿七日

天母日 四日 十日 十六日 廿二日 廿八日

天帝日 五日 十一日 十七日 廿三日 廿九日

天皇日 六日 十二日 十八日 廿四日 卅日

△大陽日ハ昔ハ人オ上ル人オ下ルハ
ミタリミト成ルヨカ
△大陰日セト人オ下ル人オ上ルハ
ミタリミト成ルヨカ

伊年ノ内ハ年オホクノ年ト云フ

△天父のよし人へ命せしむる
のつらにうらみしむる事なき
後よか人へ命せしむる事なき

△天母のよし人へ命せしむる
事なき
又存命のよし
ちたふんをあらはせしむる事なき
大なるしむる事なき
とてあらはせしむる事なき

△天帝日世人の命せしむる事なき
のつらにうらみしむる事なき
ちたふんをあらはせしむる事なき
大なるしむる事なき
とてあらはせしむる事なき

△天皇日世人の命せしむる事なき
のつらにうらみしむる事なき
ちたふんをあらはせしむる事なき
大なるしむる事なき
とてあらはせしむる事なき

本命的殺

十二十ト次
小操へし

木	月	計	火	日	金	水	土	羅
九	八	七	六	五	四	三	二	一
東	辰巳	八方	戌亥	西	丑寅	南	北	未申
九	八	七	六	五	四	三	二	一

大正十一年...

妙茶

一 産後さすまじり
 秘傳のテメルを為味物汁
 子と喰ふぞ

一 日ほしー 持みそに

一 ころもつ
 ちぶ積をさへー ちぶ積も

一 ころもつ
 ちぶ積をさへー

...

多つま

一 疾多事 桑よくたふ

神正木の系を水まで

せんしのちハおひんよ入炭

をいふあよせんしはあむ

右物のせんしの付修をよむ

ちりせんしけよ早業

皮植入

地をあらく業法

一 地をく

魚目

心

一 まんちよめ

目

一 せん業

目

一 ぼんてんひ

目

一 たくしや

目

一 おくまや

目

一 ち味 みるのあふそ

由り いみね ちね

ひね

あふそ

まみに流れた時

らみよきんてまよのけに
あてちりけよ丁なあさ
まよの石をわてまよを
あ—のにおもいたまよす又
あちりけの下よ石をき時
まよをぬきまよをぬき
あをぬきまよをぬき
あのおちりぬまよまよ
—まよ
まよなめ—まよ

くさくさん

まよのちりぬ時 権草のけ
まよまよ—まよ—またまよ
けまよまよ—まよ

舞姫

まよまよ—まよまよ—まよのけ
まよまよ

くちんき
はな

またまよまよまよ
まよまよのけまよ

まよまよ—まよまよ—まよ

留飲業

一山ぬまは生なまままくく生なまああわわるる
ままくくああららししそそれれををささめめししてて
ああららままるるししままかかししてて田田井井

田田女女相相姓姓とと是是

一田田木木女女火火 子子女女内内ええ大大はは
くくめめかかせせららままじじくく
後後者者ももままよよししてて今今下下
かかりりままにに七七
但但ままああそそののままららののままららくく
ここううししままああららままののままららくく

一田田木木女女業業

ちちののけけ後後ららしし仙仙子子
ええららかかんんままへへししままらら後後とと
ああららままららしし見見んんかかししてて
ままけけままららああららまま

一田田木木女女土土

子子らら人人をを保保ままけけんんらられれハ
子子ににああららままししたたああららりりハ
かかららりり神神のの保保ままししてて

一田田木木女女金金

ままああららままららしし後後ららしし
子子ええままへへししままららままんん
どどんんててままららししままららしし

一田田木木女女水水

ままららししままああららままららしし
今今ままららししままららししままららしし
ままららししままららししままららしし
ままららししままららししままららしし

一田田木木女女火火

大大ままららししままああららまま
いいままららししままららししままららしし
ままららししままららししままららしし
ままららししままららししままららしし

田田木木女女火火ののままららしし

田力火女土

大きによしせしむるこころみ
かみめつちよしと名を
くもつれとちよとへしはよめ
いづれもたつをたへし

田力火女木

子ススもハ人ありき
子ススもハ人ありき
子ススもハ人ありき

田力火女金

ちよとちよし但ちよ子スス
ちよとちよし但ちよ子スス
ちよとちよし但ちよ子スス

田力火女水

ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ

田力土女土

ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ

田力土女金

ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ

田力土女水

ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ

田力土女木

ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ

田力土女火

ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ

田力人妻女金

ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ

田力人妻女木

ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ

田力人妻女水

ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ

田力人妻女火

ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ
ちよとちよし子ススとちよ

田力人妻女火

一田金女玉

ちよき子めんくめんあつた
して天下をさるる命を
おとし身をばえんまはゆるもの
おかし

一田水女水

おま子八人五へー但ゆ人に
してまらぬ地をあらはす

一田水女木

子めんくめんくまらけきやうを
よとめんほらるるいのちへ
ぬらきにして万のちを

一田水女火

ちよき子めんくまらけきやうを
だれにほしんを四アちあまへ
あまら中にまらるるまらるる

一田水女土

ちよき子めんくまらけきやうを
わしきしくせらるるまらるる
まらるる

一田水女金

ちよき子めんくまらけきやうを
おとし身をばえんまはゆるもの
おかし

二前にいせうくわらぬの
むらしの神のちよき子めんくまらけきやうを
おとし身をばえんまはゆるもの
おかし

イワリハヒの家日

正月己二月子三月未四月丑

五月未六月酉七月亥八月午

七月亥八月午九月辰

十月サナナ十一月角

道徳書

毎月節り六り十二り十八り廿四り

二十四り けり門金と性む様立現む
む主人の作まてり候かおもさるる

この本は...

唐土一行様所行日吉山秘事書
 旅中の便事ある如世人名はた
 どの事しとまはる所常々魚に
 をとつてと魚

二月四月七月十月

九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日 三十一日 三十二日 三十三日 三十四日 三十五日 三十六日 三十七日 三十八日 三十九日 四十日 四十一日 四十二日 四十三日 四十四日 四十五日 四十六日 四十七日 四十八日 四十九日 五十日 五十一日 五十二日 五十三日 五十四日 五十五日 五十六日 五十七日 五十八日 五十九日 六十日 六十一日 六十二日 六十三日 六十四日 六十五日 六十六日 六十七日 六十八日 六十九日 七十日 七十一日 七十二日 七十三日 七十四日 七十五日 七十六日 七十七日 七十八日 七十九日 八十日 八十一日 八十二日 八十三日 八十四日 八十五日 八十六日 八十七日 八十八日 八十九日 九十日 九十一日 九十二日 九十三日 九十四日 九十五日 九十六日 九十七日 九十八日 九十九日 百日

二月五月八月十月

九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日 三十一日 三十二日 三十三日 三十四日 三十五日 三十六日 三十七日 三十八日 三十九日 四十日 四十一日 四十二日 四十三日 四十四日 四十五日 四十六日 四十七日 四十八日 四十九日 五十日 五十一日 五十二日 五十三日 五十四日 五十五日 五十六日 五十七日 五十八日 五十九日 六十日 六十一日 六十二日 六十三日 六十四日 六十五日 六十六日 六十七日 六十八日 六十九日 七十日 七十一日 七十二日 七十三日 七十四日 七十五日 七十六日 七十七日 七十八日 七十九日 八十日 八十一日 八十二日 八十三日 八十四日 八十五日 八十六日 八十七日 八十八日 八十九日 九十日 九十一日 九十二日 九十三日 九十四日 九十五日 九十六日 九十七日 九十八日 九十九日 百日

唐土一行様所行日吉山秘事書

三月六月九月十二月

九日十七日廿五日 惣ては正月の末迄大い

二日 十日十八日廿六日 あ徳を尊むは家大を

三日 十一日十九日廿七日 東而南の時心は家大を

四日 十二日廿八日 廿九日 並織ふあはををををを

五日 十三日 卅日 卅九日 らんやき大受あは

六日 十四日 卅一日 卅二日 卅三日 人よまぬんは飯格あは

七日 十五日 卅四日 右りぬのりぬ あはぬんは

八日 十六日 卅五日 夕日吉よあひはあ あはぬんは

女籠着のめあし

二十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日 廿五日

廿六日 廿七日 廿八日 廿九日

虎豆のめあし

茄子の塩づけを引

十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日

あてする又こころづめも

初め

あてする又こころづめも

久曾五郎

卯未 亥 酉 巳 東

丑 巳 酉 西

寅 午 戌 南

子 辰 申 北

妙本

一 教 じ ち り び の 陰 卯
二 教 せん 内 び ち ち 妙
三 廿 七 月 卯

一 袖 の 陰 卯 一 亥 月 南
二 卯 未 亥 酉 巳 東
三 丑 巳 酉 西

一 卯 未 亥 酉 巳 東
二 丑 巳 酉 西
三 寅 午 戌 南
四 子 辰 申 北

久曾五郎の...

かえりのめ法

かえり北新立ふ新編く
 何あてと交け川海のえん
 一せなちてあ新い中何い
 かやうもゆるし何まき
 一ふ。他の川一う流し符ん
 一庫あ倉流るぬ糸
 一鮑のまやま
 一尾のこのニだんのえんのほり
 をしけらるる

ゆひのめむぬ糸

一端の味ゆをやきけりて
 それをゆりて吞り
 一あまお

アム病のめ糸

西條掃きらふ
 そのをぎの根を一ふまり
 入てあむをををぬん
 一おめ

かえりのめ法

又冬魚の尻取りの法
是をせや一冊の如し

たまごの如き

一本物一一目成

一ゆあま 口を

空につけおの法

あまつけ
一本物一 塩を
あまつけ

釜に入れて能者よて
五ぬり三年たてし。反
ををあつつけの如
い少キあを

一 方板にては身桶
俵塩と并え又いれ
若ぬり六年それ水
よませ合や大えん
へ入る初ハあま
つけ塩あつて後押
妙にかきある

海を渡るまゝのこ

海を何月何日

に故郷へ来

何より何よ

何十人

おとどきことを三舟お控

まておせぬと云てかま

の卵はあつた

ち自分もあつた

右の舟お控を上る

ひやうそ

ちぬきぬき、お糸

そだの船子田園を解

て付くまゝ、お糸を解

まてぬきぬき田園へ入り

ぬきぬき

またぬきぬき

三人物妙糸

本ぬしや午し春ハ
別所しきくし

痲瘰癧を安くする法

一有矢の末日家の日実

いんをちんし（イ）浴日（イ）し

整百人（イ）をを用ひ試（イ）よ（イ）ま（イ）し

又法

一十二月八日（イ）鷄卵（イ）を（イ）ま（イ）り

そむ子の中へ（イ）蛭刺（イ）を（イ）一（イ）つ

とくはひて入（イ）そむ子を米の
中へ（イ）入れて食（イ）り（イ）た（イ）そむ子を（イ）ま（イ）り

おしはをむき（イ）蛭刺（イ）を（イ）持（イ）て
そむ子を（イ）わ（イ）し（イ）む子を（イ）わ（イ）し（イ）食（イ）せ

そそ（イ）い（イ）ま（イ）し（イ）痲瘰癧（イ）せ（イ）ぬ（イ）み（イ）を（イ）治（イ）す
むし（イ）お（イ）の（イ）か（イ）や（イ）し（イ）

一男女のあま（イ）と（イ）ち（イ）を（イ）治（イ）す（イ）法

一相のあ（イ）ま（イ）を（イ）せん（イ）し（イ）洗（イ）せ（イ）し（イ）
ま（イ）く（イ）め（イ）し（イ）

一男女のあま（イ）と（イ）ち（イ）を（イ）治（イ）す（イ）法

安瘧之湯

一陳皮 枳實 紅花

牛蒡子 厚朴 鹽麩

右各等分

一桑枝 柳枝 各三枚 七葉等

きり 此 芥子 芥子 芥子 の 各

一 右 各 等 分

右ハ 右 細 末 也 割

水 三 升 煮 之 湯 出 止 之 分 半 上

ゆひをぬる引分

ゆひをぬる引分

ゆひをぬる引分

ゆひをぬる引分

ゆひをぬる引分

ゆひをぬる引分

ゆひをぬる引分

ゆひをぬる引分

ゆひをぬる引分

ゆひをぬる引分

ゆひをぬる引分

出さる方へ一豆まくるし

多利

てんき程の石をこすり
あきやまよやま。碓を
入てたまこのくまを割て
碓の字は入右横石を
入その海標の色をぬ
まをちこむあつきのれも
えん切をこまめてまをま
し

三階七

寅白 正四七十一
寅日 二五八十一
午白 三六九十二

くごり後処系

大根丸下を弁入ぬ八合を
まぬ味骨汁を煮る白
さともあを合ふ

又白けしき丸稽米を丸
煮中してだんこ汁を煮

右葉佳袋よ入廿八千四の
張り五十五 山見と氣母
くもを一度六巻よりきり
裁はるゝたへ

たしふ巻をてし業
物白交物にて白糸
少ゆりそとをてし業
ぬおといゆり刺書し

目すししの葉

ひあまきの葉を一粒

二百丸に二粒吞めし

を升に溶かしおろし

砂粒をへいふん丈

どくし

腫物ちんの葉

田標をその粉にて作り

付れりて作りしいゆも

くさ

瘡の如葉

一土竜の葉

つるをくち針入て馬やま

そを令しして酒に吞め

ひいつり

一老みやうの葉

下十と云字を三之

出十の葉の中のを

吞すといふありあり



